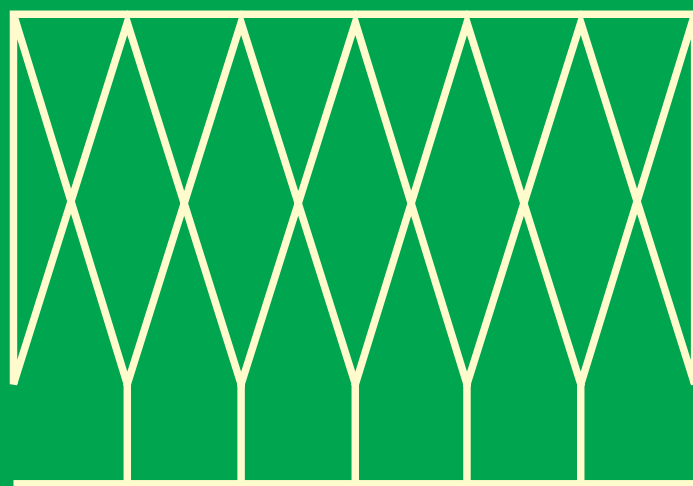


島根大学医学部紀要

— 48 —



令和 7 年

島根大学医学部

研究報告

福田佳七子・榊原 文：

児童虐待対応における医療機関と関係機関との連携に関する文献検討 ……………(1)

吉木友唯・榊原 文：

不妊治療を受けた女性の育児期における体験に関する文献的考察

－地域母子保健活動を担う保健師等による育児支援への示唆－ ……………(9)

坂根可奈子・森山香澄・井川優花・森脇早紀：

デジタル教科書導入に向けた看護学生の認識と電子デバイス活用状況の実態 ……………(17)

学位授与

2025（令和7）年1月－12月……………(25)

学位授与 2025(令和7)年1月-12月

学位の種類：博士(医科学)

氏名	学位記番号	学位授与日	論文名	発表雑誌名・年・巻・ページ	主査	副査
神田 翔磨	甲第654号	2025年1月15日	Dietary Fiber Deficiency Accelerates Colitis in Mice in the Short Term Independent of Short-Chain Fatty Acids	Gastroenterology Insights. 2024;15(3):730-743.	岸 博子	竹下 治男 石村 典久
高野 恵	甲第655号	2025年2月10日	Investigating the Regulatory Mechanism of Glucose Metabolism by Ubiquitin-like Protein MNSFβ	Molecular Biology Reports. 2024;51:1053.	宮城 聡	一瀬 邦弘 石原 孝也
伊藤 修司	甲第656号	2025年3月5日	A Genome-wide Association Study Identifies a Locus Associated With Knee Extension Strength in Older Japanese Individuals	Communications Biology. 2024;7(1):513.	牧石 徹也	馬庭 壯吉 竹下 治男
狩野 園子	甲第657号	2025年3月5日	A Diet High in Glucose and Deficient in Dietary Fibre Causes Fat Accumulation in the Liver without Weight Gain	Biochemistry and Biophysics Reports. 2024;40:101848.	松本 健一	石原 俊治 横田 茂文
金山三紗子	甲第658号	2025年3月19日	The Gut Microbiota Response to Electroconvulsive Therapy for Schizophrenia: A Prospective Cohort Study	Shimane Journal of Medical Science. 2024;41(3):83-91.	長井 篤	藤谷 昌司 牧石 徹也
AUNG PHYO WAI	甲第659号	2025年3月19日	Persistent Epstein-Barr Virus Infection of Epithelial Cells Leads to APOBEC3C Expression and Induces Mitochondrial DNA Mutations	Microbiology and Immunology. 2025;69(3):157-167.	加藤 太陽	菅野 貴浩 岡本 貴行
石原慎一郎	甲第660号	2025年3月19日	The PKM2 Activator TEPP-46 Suppresses Cellular Senescence in Hydrogen Peroxide-induced Proximal Tubular Cells and Kidney Fibrosis in CD-1 db/db Mice.	Journal of Diabetes Investigation. 2025;16(4):598-607.	宮城 聡	和田孝一郎 田邊 一明
天野 志保	甲第661号	2025年3月19日	Relationship Between Anemia and Readmission Among Older Patients in Rural Community Hospitals: A Retrospective Cohort Study	Journal of clinical medicine. 2024;13:539.	深見 達弥	新野 大介 田村 研治
AMELIA FERDAUS SARA	甲第662号	2025年3月19日	NAD ⁺ Deficiency Plays Essential Roles in the Hyperuricemia of Stroke-Prone Spontaneously Hypertensive Rat via Xanthine Dehydrogenase to Xanthine Oxidase Conversion	Biochemical and Biophysical Research Communications. 2025;744:151136.	神田 武志	加藤 太陽 矢野 彰三
加藤 晶	甲第663号	2025年3月19日	Discrepancy Between Subjective and Objective Postoperative Oral Dysfunction Assessment After Oral Cancer Treatment: A Single-Center Cross-Sectional Study	Oral Oncology. 2022;129:105879.	佐野 千晶	新野 大介 牧石 徹也
菅野 晃輔	甲第664号	2025年3月19日	Association Between KRAS and PIK3CA Mutations and Progesterone Resistance in Endometriotic Epithelial Cell Line	Current Issues in Molecular Biology. 2024;46:3579-3594.	藤谷 昌司	金崎 啓造 鈴木 律朗
谷口 真紀	甲第665号	2025年3月19日	Impact of Current and Previous Sperm Findings on Outcomes of Intrauterine Insemination	Reproductive Medicine and Biology. 2024;23(1):e12574.	竹谷 健	鈴木 律朗 石原 孝也
田原 大資	甲第666号	2025年3月19日	Clinical Characteristics of Japanese Patients With Corticobasal Degeneration	Journal of the Neurological Sciences. 2024;466:123212.	藤田 幸	林 健太郎 荒木亜寿香
筒井 愛佳	甲第667号	2025年3月19日	Comparison of Schlemm's Canal Morphology Parameters Between Propensity Score-Matched Primary Open-Angle Glaucoma and Exfoliation Glaucoma	Investigative Ophthalmology & Visual Science. 2024;65(2):15.	新野 大介	佐野 千晶 荒木亜寿香
毛利 直人	甲第668号	2025年3月19日	Effects of Shopping Rehabilitation on Older People's Daily Activities	International Journal of Environmental Research and Public Health. 2022;19(1):569.	廣井 直樹	内尾 祐司 馬庭 壯吉

氏名	学位記番号	学位授与日	論文名	発表雑誌名・年・巻・ページ	主査	副査	
森岡 怜音	甲第669号	2025年 3月19日	Oral Functional Impairment May Cause Malnutrition Following Oral Cancer Treatment in a Single-center Cross-sectional Study	Scientific Reports. 2022;12:14787.	山崎 修	稲垣 正俊	青井 典明
RAMANATHAN MRUNALINI	甲第670号	2025年 3月19日	In Vivo Evaluation of Bone Regeneration Capacity of the Novel Nanobiomaterial: β -Tricalcium Phosphate Poly(lactic Acid-co-glycolide) (β -TCP/PLLA/PGA) for Use in Maxillofacial Bone Defects	Nanomaterials. 2023;14:91.	林 健太郎	藤田 幸	宮城 聡
LIU XINLANG	甲第671号	2025年 3月19日	UBE3A Controls Axon Initial Segment in the Cortical Pyramidal Neurons	Biochemical and Biophysical Research Communications. 2025;751:151429.	藤田 幸	長井 篤	稲垣 正俊
阿部 香澄	甲第672号	2025年 3月19日	The Effect of Management of Older Patients With Heart Failure by General Physicians on Mortality and Hospitalization Rates: a Retrospective Cohort Study	BMC primary care. 2024;25:330.	岩下 義明	岸 博子	長井 篤
FADIL ABDILLAH ARIFIN	甲第673号	2025年 3月19日	Comparison of Oral Health-Related Quality of Life Among Endodontic Patients With Irreversible Pulpitis and Pulp Necrosis Using the Oral Health-Related Endodontic Patient's Quality of Life Scale	Odontology. 2025;113(2): 844-856.	一瀬 邦弘	林 健太郎	牧石 徹也
SOHEL HASIBUL ISLAM	甲第674号	2025年 9月19日	Establishment of a Novel In Vitro and In Vivo Model to Understand Molecular Carcinogenesis of Endometriosis-Related Ovarian Neoplasms	International Journal of Molecular Science. 2025; 26(5):1995.	竹谷 健	新野 大介	山根 正修
石飛 文規	甲第675号	2025年 9月3日	Time Course of Blood Gas Analysis and Application to Inter-Instrument Difference Verification Using Patient Blood Sample as a Control	Laboratory Medicine International. 2024;3(4): 118-124.	神田 武志	田邊 一明	松本 健一
植 敦士	甲第676号	2025年 11月5日	An Increase in Fusobacterium Is Associated with the Severity of Oral Mucositis After Radiotherapy	Scientific Reports. 2025; 15(1):28706.	管野 貴浩	竹下 治男	矢野 彰三
奥野 峰苗	甲第677号	2025年 12月25日	Blood Concentrations of Osimertinib and Its Active Metabolites: Impact on Treatment Efficacy and Safety	Anticancer Research. 2025;45:2551-2561.	山本 寛齊	山根 正修	矢野 貴久
杉原 一暢	乙第339号	2025年 3月5日	One-year Ocular Safety Observation of Workers and Estimations of Microorganism Inactivation Efficacy in the Room Irradiated With 222-nm Far Ultraviolet-C Lamps	Photochemistry and Photobiology. 2023;99(3): 967-974.	飯笹 久	山崎 修	玉置 幸久

学位の種類：博士（看護学）

氏名	学位記番号	学位授与日	論文名	主査	副査	
谷口かおり	看博第4号	2025年 3月19日	Epidemiological Study on Stress and Sense of Coherence among Agricultural Workers during the COVID-19 Pandemic	橋本 龍樹	古賀 美紀	津本 優子
松村 初恵	看博第5号	2025年 3月19日	Study of Probe skills for Residual Urine Measurement Using a General Ultrasound Imaging Device	津本 優子	古賀 美紀	橋本 龍樹

学位の種類：修士（医科学）

氏名	学位記番号	学位授与日	論文名	主査	副査
上田 泰憲	医修第214号	2025年 3月19日	アナフィラキシー対応のためのシミュレーション研修プログラムの学習効果	加藤 太陽	矢野 彰三 岩下 義明
渡部 律子	医修第215号	2025年 3月19日	日本人小児患者に対する高用量メトトレキサート療法における母集団薬物動態解析モデルの構築とMTX排泄遅延のリスク因子解析	山崎 修	岩下 義明 矢野 貴久
AYSHA SIDDIKA MUKTA	医修第216号	2025年 3月19日	Possible effects of topical rho-kinase inhibitor on Schlemm's canal morphology parameters	長井 篤	藤田 幸 谷戸 正樹
AKHTER ARJU	医修第217号	2025年 3月19日	Inhibiting Myostatin Expression by the Antisense Oligonucleotides Improves Muscle Wasting in a Chronic Kidney Disease Mouse Model	岩下 義明	加藤 太陽 矢野 彰三
TIAN LINJIE	医修第218号	2025年 3月19日	Establishment of α -Gal-Specific IgE Cutoff Value to Prevent Allergic Reaction to Cetuximab in α -Gal Syndrome	矢野 貴久	宮城 聡 山崎 修
BATJARGAL LKHAGVAJAV	医修第219号	2025年 3月19日	Neurotensin expression in the posterior hypothalamus is influenced by the increase in kisspeptin : Insights from in vivo Rat Models and Hypothalamic Cell Models	藤田 幸	長井 篤 京 哲
RAHMAN MD TANVIR	医修第220号	2025年 3月19日	Exploring SLFN11 expression as a critical determinant of platinum sensitivity in ovarian carcinoma	宮城 聡	山崎 修 竹下 治男
WANG RUOCHEN	医修第221号	2025年 3月19日	Carboxylated Zn-phthalocyanine attenuates brain A β in AD model mouse	谷戸 正樹	京 哲 長井 篤

学位の種類：修士（看護学）

氏名	学位記番号	学位授与日	論文名	主査	副査
浦本 唯佳	看修第192号	2025年 3月1日	新生児・乳児食物蛋白誘発胃腸症を持つ乳幼児の養育者の困難感	伊藤 智子	古賀 美紀 秋鹿 都子
三島 奈菜	看修第193号	2025年 3月1日	人工肛門をもつ認知症高齢者の療養生活を支える家族のかかわり	伊藤 智子	橋本 龍樹 原 祥子
打田絵里世	看修第194号	2025年 3月1日	一般病棟の看護師における終末期がん患者に対するケアリング行動の関連要因	津本 優子	秋鹿 都子 古賀 美紀
田中 美喜	看修第195号	2025年 3月1日	中堅看護師に対する目標管理面接とワークモチベーションとの関連	原 祥子	橋本 龍樹 津本 優子
生林 裕子	看修第196号	2025年 3月1日	病院における安全文化の醸成と看護管理者のキーコンピテンシーの関連	古賀 美紀	加藤 真紀 津本 優子
椿 愛海	看修第197号	2025年 3月1日	助産師が行う母親を地域サービスに繋ぐ実践力と他職種連携力の関連	津本 優子	原 祥子 伊藤 智子
大塚 俊輝	看修第198号	2025年 3月1日	訪問看護ステーション管理者の経営管理に対する意識と経営状況との関連	伊藤 智子	加藤 真紀 津本 優子
阪田実紗希	看修第199号	2025年 3月1日	妊娠後期の初産婦を妻に持つ父親の胎児ボンディング形成に関する研究	原 祥子	秋鹿 都子 古賀 美紀
西村 優子	看修第200号	2025年 3月1日	初めて配置転換を経験した中堅看護師のワーク・モチベーションと自己教育性との関連	古賀 美紀	秋鹿 都子 津本 優子
向井こころ	看修第201号	2025年 3月1日	A病院で無痛分娩を実施した産婦の出産体験と産後のメンタルヘルス	橋本 龍樹	加藤 真紀 津本 優子

「島根大学医学部紀要」投稿・査読要領

医学部欧文雑誌・紀要発行委員会

2011.6.1改訂

2016.6.7改訂

2020.6.17改訂

2024.7.25改定

2024.8.23改定

1. 投稿資格

投稿者は、島根大学医学部教員とする。それ以外の者が投稿を希望する場合は、著者の中に必ず島根大学医学部の常勤の教員が入らなければならない。

2. 原稿の内容

原稿は、他の雑誌に掲載済みではないもの、あるいは投稿予定のないものとし、日本語での投稿に限る。投稿された原稿で査読中のもの、あるいは掲載が決定したものを他の雑誌等へ投稿することは禁止する。すでに学会などで発表した内容が含まれている場合は、その旨を本文中に記載すること。図表やイラスト、写真などの掲載に際して著作権・肖像権等に関する処理が必要な場合は、投稿者自身が処理を行うこと。

3. 原稿の種類

- 1) 総説：特定のテーマに関し文献考察を行い研究を総括・解説したもの
- 2) 原著論文：独創的で、新しい知見や理解が論理的に示されている研究論文で、形式が整っているもの
- 3) 研究報告：研究結果の意義が大きい論文
- 4) 実践報告：臨床及び教育に関する手技・技術や実践方法に関するもの
- 5) その他：症例・事例報告、資料、翻訳など上記に該当しないもので委員会が適当と認めたもの

4. 倫理的配慮

投稿論文の研究が、人間を対象とする場合は「ヘルシンキ宣言」の趣旨に沿って、動物実験の場合は所属機関の基準等を遵守して行われたものでなければならない。また、個人を対象とした研究・調査などについては「倫理綱領などのガイドライン」に基づき、研究・調査対象者の人権やプライバシーに十分配慮したものでなければならない。原著論文及び症例報告にあっては、倫理委員会の承認を得たものであることとし、その旨を論文中に明記する。また、ヒトを対象とした研究報告は、論文中に配慮した内容を詳細に記載する。

5. 査読

すべての論文等が査読の対象となる。

投稿を受け付けた論文等については、医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会により選任された編集長（編集担当代表）が以下の査読過程を担当する。

- (1) 編集長は論文の概要と内容を検討し、投稿規定にあわないもの、内容が本誌の目的と異なるものについては一旦返却または不採用にする。このときにコメントの提示および投稿区分の変更を提案することもある。
- (2) 編集長は2名程度の査読者を指名し査読を依頼する。査読者は島根大学医学部教授、准教授、講師の他、編集長から要請があり且つ医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会が協議のうえ特に必要と認めた場合には、学外の査読者を指名することができる。
- (3) 投稿されたすべての種別の論文に対して、シングルブラインド方式により査読を行う。
- (4) 編集長は査読者の判定を参考にして、内容の再検討および修正を著者に依頼する。すべての査読者が不採用と判定した場合は査読を中止し、医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会に報告する。査読者間で判定が大きく異なる場合は、査読者を変更してさらに査読を依頼することがある。これらの結果を踏まえたうえで、編集長は論文等の採否を決定する。なお、編集長が判断できない場合には、必要に応じて医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会で協議することができる。
- (5) 編集長は採用された論文について暫定的に「受理（Accept）」した旨のレターを発行することができる。

(6)編集長は上記査読過程を医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会に報告する。

上記査読過程をへて受理された論文等の医学部欧文雑誌・紀要への掲載は、医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会で審議し、最終決定する。

採用された論文等の雑誌への掲載について疑義が生じた場合は、編集長に差し戻し、改善を求める場合もある。

6. 投稿手続き

- 1) 「論文投稿用紙」を医学部ホームページよりダウンロードし、所定の事項を記入し添付する。
- 2) 投稿原稿はWordファイルを、下記「12. 原稿提出先」にメール添付で提出する。

7. 執筆要領

- 1) 原稿は、ワードプロセッサを使用し、A4縦置き、横書きとする。
1 ページにつき36字×30行で作成する。和文の書体はMS明朝体10.5ポイントとし、句点は（。）読点は（、）とする。英文の書体はTimes New Roman 12ポイントとする。
- 2) 欧文文字、算用数字は2字1コマとする。
- 3) 原稿本文の字数制限（図、表、文献を含む）は下記のとおり。
図、表はA4版大で2,000字、A4版の1/2大で1000字、1/4大で500字程度に換算する。
 - (1) 総説：12,000字以内
 - (2) 原著論文：16,000字以内
 - (3) 研究報告：10,000字以内
 - (4) 実践報告：10,000字以内
 - (5) その他：8,000字以内
- 4) 和文要旨（400字以内）を付ける。また、原著論文には併せて英文要旨（200words以内）を付ける。
- 5) 原稿には表題紙をつけ以下の事項を記す。これらには英文を併記すること。
 - (1) 論文タイトル
 - (2) 論文の内容を的確に表現するキーワード（5個以内）
 - (3) 著者名
 - (4) 所属（異なる機関に所属する者の共著である場合、所属ごとに番号を付しその番号を著者名の右肩に示した上で、著者名の下に一括して記す）
 - (5) 連絡先（所属、メールアドレス）
- 6) 原著論文は、目的、方法、結果、考察、結論、謝辞、文献の順に記載する。それぞれの見出しの言葉は変更して構わない。他の論文も目的、方法、結果、考察、結論に準じて記載する。
- 7) 本文の見出し順位は、以下のとおりとする。
I . II . III .
1 . 2 . 3 .
1) 2) 3)
(1) (2) (3)
- 8) 略語を用いる場合は、初出で正式用語とともに提示し、その後略語を用いることを明記する。
- 9) 単位符号は原則としてSI単位を用いる。
- 10) 図、表、写真は1枚の用紙に1つずつ記載し、図1、表1などの番号を付け、まとめて原稿の末尾に添付する。表にはタテ線は使用しない。本文中には、図、表が挿入されるべき位置を欄外に赤字で明記する。
- 11) 文献の記載方法は次の形式による。
 - (1) 本文の引用箇所は、引用順に1)、1,2)、1-4)などと肩番号を付す。
 - (2) 文献は、原稿末尾に一括して使用した順に記す。著者が4名以上の場合は、3名まで記載し、それ以外は、“他”または、“et al.”と省略する。
 - (3) 記載例
[雑誌の場合]
① 著者. タイトル. 雑誌名（英語雑誌はイタリック）年; 巻: 頁-頁. の順に記す。

②オンライン雑誌の場合は、DOIを記す。

③雑誌名の略記は「医学中央雑誌」及び「MEDLINE(PubMed)」に従う。

・宮本まゆみ, 津本優子, 福間美紀, 他. 離床センサーを用いた転倒リスク患者の離床行動の実態調査. 医療の質・安全学会誌 2013;8(4):317-23.

・Haze S, Sasai K, Gozu Y. Effects of fragrance inhalation on sympathetic activity in normal adults. *Jpn J Pharmacol* 2002;90:247-53.

[単行本の場合]

①編著者. 書籍タイトル. (版数.) 出版地: 出版者; 出版年 (:頁-頁). の順に記す。

・宇都宮宏子. 退院支援実践ナビ. 東京: 医学書院; 2011: 17-29.

②書籍の中の1章を引用した場合は、著者. 章タイトル. In: 編著者. 書籍タイトル. (版数.) 出版地: 出版者; 出版年: 頁-頁. の順に記す。

・荒木美千子. 脳・神経疾患患者のフィジカル・アセスメント. In: 川本利恵子, 編著. フィジカル・アセスメント2: 看護診断編. 東京: メジカルフレンド社; 1998: 2-15.

③シリーズ中の書籍の場合は、シリーズのタイトルとその書籍の巻数を、出版年の後に記す。

・須永清, 落合敏. 栄養学. 東京: 真興交易医書出版部; 1991. 本田良行, 石川稔生, 編. 現代看護学基礎講座; 11.

[翻訳書の場合]

著者名. 書籍タイトル. (版数.) 出版年. 翻訳者名. 和書名. (版数.) 出版地: 出版者; 出版年. の順に記す。

・Benner P. From novice to expert: Excellence and power in clinical nursing practice. 1984. 井部俊子, 監訳. ベナー看護論. 新訳版. 東京: 医学書院; 2005.

[Webの情報の場合]

著者または、団体名. タイトル. ウェブサイト名. (掲載日, アクセス日). の順に記す。

・厚生労働省. 健康日本21糖尿病. http://www1.mhlw.go.jp/topics/kenko21_11/b7f.html. (アクセス日 2016.5.10).

8. 著者校正

著者校正は原則として1回とし、校正に際して大幅な加筆、修正は認めない。

9. 費用

掲載料は無料とする。別刷は著者の自己負担とする。

10. 発行

原則として年1回とする。

11. 著作権

1) 本誌に掲載された論文、抄録の著作権（電子版を含む）は、島根大学医学部に帰属する。本誌掲載論文を転載する場合は、出典を明示すること。

2) 本誌に掲載された論文は、島根大学附属図書館ホームページの島根大学学術情報リポジトリ (SWAN) で公開する。

12. 原稿提出先

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

島根大学附属図書館医学図書館「島根大学医学部紀要」編集事務担当

E-mail: m-kanri@lib.shimane-u.ac.jp

編 集 担 当 委 員

* 橋 本 龍 樹 (臨 床 看 護 学)	伊 藤 智 子 (地 域・老 年 看 護 学)
和 田 孝 一 郎 (薬 理 学)	秋 鹿 都 子 (臨 床 看 護 学)
矢 野 彰 三 (臨 床 検 査 医 学)	山 本 昌 弘 (臨 床 看 護 学)
	(* 印……編 集 担 当 者 代 表)

Editors

*Ryuju HASHIMOTO (Clinical Nursing)	Tomoko ITO (Community Health and Gerontological Nursing)
Koichiro WADA (Pharmacology)	Satoko AIKA (Clinical Nursing)
Shozo YANO (Laboratory Medicine)	Masahiro YAMAMOTO (Clinical Nursing)

(*Editor-in-Chief)

令和8年3月発行

発 行： 島 根 大 学 医 学 部
医学部長 竹 谷 健

島 根 県 出 雲 市 塩 冶 町 89 - 1
(〒693-8501)

印 刷： (有)ナガサコ印刷
出 雲 市 下 横 町 350

(表紙デザイン・築地松)

SHIMANE DAIGAKU IGAKUBU KIYO
(BULLETIN OF SHIMANE UNIVERSITY FACULTY OF MEDICINE)

Vol. 48

2025

Research Report

Kanako FUKUDA, Aya SAKAKIHARA:

Literature Review on Collaboration Between Medical Institutions and Related Organizations
in Responding to Child Abuse (1)

Yui YOSHIKI, Aya SAKAKIHARA:

A Literature Review of the Child-rearing Experiences of Women Underwent Infertility Treatment
—Suggestions for Childcare Support Provided by Public Health Nurses and Others Responsible
for Community Maternal and Child Health Activities— (9)

Kanako SAKANE, Kasumi MORIYAMA, Yuka IKAWA, Saki MORIWAKI:

Actual Status of Nursing Students' Perceptions Toward the Introduction of Digital Textbooks
and Their Use of Electronic Devices (17)

Degrees Granted

January 2025–December 2025 (25)